

復習1

- 1) Excel ファイル「例題1」を開いてください。
- 2) Sub プロシージャ「請求書作成」を作成し、ワークシート「売上伝票一覧」にある「請求書作成」ボタンにマクロを登録してください。(参照 P8～P18)
- 3) ワークシート「請求書」のセル A5 に、ワークシート「売上伝票一覧」のセル C3 の顧客名が転記されるコードを入力してください。(参照 P19)
- 4) オートフィルターが機能するコードを入力してください。(参照 P22～P23)
- 5) ワークシート「売上伝票一覧」で抽出されたデータのうち、商品名、単価、数量のデータをワークシート「請求書」のセル A14 を基点に転記するコードを入力してください。(参照 P26～P27)
- 6) オートフィルター機能を解除するコードを入力してください。(参照 P30)
- 7) プログラムを実行後、請求書画面が表示されるようにしてください。その際、範囲選択も解除されている状態にしてください。(参照 P33～P34)
- 8) 請求書を印刷するコードを入力し、「請求書印刷」ボタンをクリックすると印刷が始まるようにしてください。(参照 P36～P37)
- 9) ワークシート「請求書」のセル A14～C27 のデータを消去するコードを入力してください。(参照 P38～P40)
- 10) ワークシート「請求書」のセル A5 の内容を消去するコードを先ほど入力したコードの下に追加してください。(参照 P45)

復習2

- 1) Excel ファイル「例題2」を開いてください。
- 2) Sub プロシージャ「請求書作成」を作成し、ワークシート「注文一覧」にある「請求書作成」ボタンにマクロを登録してください。(参照 P48~P49)
- 3) ワークシート「請求書 TP」をコピーして、ワークシート「請求書 TP」の右隣に作成されるコードを入力してください。(参照 P50)
- 4) 先ほどコピーして作成されたワークシートの名前が、ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客名になるコードを入力してください。(参照 P52~P57)
- 5) ワークシート「注文一覧」の5行目の「摘要」「数量」「単価」のデータを、コピーして作成された請求書シートに転記するコードを入力してください。(参照 P58~P61)
- 6) もしワークシート「注文一覧」のセル H3 の顧客名と同じワークシートのセル B5 が同じであれば、同じワークシートの5行目の「摘要」「数量」「単価」がワークシート「請求書 TP」のコピー先の請求書シートに転記されるよう、5) で入力したコードを修正してください。(参照 P63~P64)
- 7) 先ほど入力した IF ステートメントの Range プロパティを Cells プロパティに変更してください。(参照 P66~P76)
- 8) For~Next を使って、ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客が最後に注文した内容が、ワークシート「請求書 TP」のコピー先の請求書シートの15行目に表示されるようにコードを修正してください。(参照 P78~P82)

次ページへ続く

- 9) 2つ目の変数を使って、ワークシート「注文一覧」のセル H3 で選択している顧客が注文したデータがすべて表示されるようにしてください。(参照 P84～P85)
- 10) 他の顧客の請求書が新しいワークシートに作られることを確認してください。確認後、作成された請求書シートは削除してください。(参照 P94～P95)
- 11) ワークシート「注文一覧」のデータが増減しても請求書に反映されるようにコードを修正してください。(参照 P97～P98)
- 12) ワークシート「注文一覧」の「請求書印刷」ボタンをクリックすると、同じワークシートのセル H3 に入力されている顧客の請求書が印刷されるコードを入力して下さい。(参照 P103～P104)
- 13) ワークシート「注文一覧」の「請求書削除」ボタンをクリックすると、同じワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客の請求書が削除されるコードを入力して下さい。(参照 P105～P107)

練習問題 1

- 1) Excel ファイル「練習問題 1」を開いてください。
- 2) Sub プロシージャ「請求書作成」を作成し、ワークシート「売上伝票一覧」にある「請求書作成」ボタンにマクロを登録してください。(参照 P8～P18)
- 3) ワークシート「請求書」のセル A5 に、ワークシート「売上伝票一覧」のセル C3 の顧客名が転記されるコードを入力してください。(参照 P19)
- 4) ワークシート「売上伝票一覧」の顧客名に入力されている顧客を元にオートフィルターが機能するコードを入力してください。(参照 P22～P23)
- 5) ワークシート「売上伝票一覧」で抽出されたデータのうち、商品名、単価、数量のデータをワークシート「請求書」のセル A14 を基点に転記するコードを入力してください。(参照 P26～P27)
- 6) オートフィルター機能を解除するコードを入力してください。(参照 P30)
- 7) プログラムを実行後、請求書画面が表示されるようにしてください。その際、範囲選択も解除されている状態にしてください。(参照 P33～P34)
- 8) 請求書を印刷するコードを入力し、「請求書印刷」ボタンをクリックすると印刷が始まるようにしてください。(参照 P36～P37)
- 9) 「請求書データ消去」ボタンをクリックすると、ワークシート「請求書」のセル A14～C27 のデータを消去するコードを入力してください。(参照 P38～P40)
- 10) ワークシート「請求書」のセル A5 の内容を消去するコードを先ほど入力したコードの下に追加してください。(参照 P43)

練習問題 2

Excel ファイル「練習問題 2」を開いて下さい。

- 1) 「請求書作成」サブプロシージャを作成し、ワークシート「注文一覧」の「請求書作成」ボタンにマクロの登録をおこなってください。(参照 P48～P49)
- 2) ワークシート「請求書」のコピーを右隣に作成してください。(参照 P50)
- 3) ワークシート「請求書」からコピーしたワークシートの名前が、ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客名「コスロの食堂」になるようにしてください。(参照 P52～P56)

※これ以降、「コスロの食堂」の請求書を作成する前提で進めていきます。

- 4) ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客名が、ワークシート「コスロの食堂」のセル A9 に転記されるコードを入力してください。(参照 P58)
- 5) ワークシート「注文一覧」のセル A5 の「注文受付日」、セル C5 の「摘要」、セル D5 の「数量」、セル E5 の「単価」のデータが、ワークシート「コスロの食堂」の 16 行目に転記されるコードを入力してください。(参照 P60～P61)
- 6) IF ステートメントを追加して、ワークシート「注文一覧」のセル H3 とワークシート「注文一覧」のセル B5 が同じ顧客名だったら、ワークシート「顧客名」にデータが転記されるコードにしてください。(参照 P63～P64)
- 7) IF ステートメント内の Range プロパティをすべて Cells プロパティに変更してください。(参照 P66～76)

- 8) For～Next を使い、ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力している顧客(コスロの食堂)が最後に注文した商品が、ワークシート「コスロの食堂」の 16 行目に表示されるようにしてください。変数の指定はありませんが、テキストの解答例では「i」を使用しています。(参照 P78～P82)
- 9) もう一つの変数を設定し、注文データがすべてワークシート「コスロの食堂」に表示されるようにコードを追加及び修正してください。変数の指定はありませんが、テキストの解答では「j」を使用しています。(参照 P84～P87)
- 10) 他の顧客の請求書が追加作成されるようにしてください。変数の指定はありませんが、テキストの解答では「HK (Hokano・Kokyaku の H と K をつないだ文字列)」しています。(参照 P94～P95)
- 11) ワークシート「注文一覧」データが現在より増えたり減ったりしてもワークシート「(顧客名の) 請求書」にデータが転記されるようにコードを修正してください。(参照 P97～P98)
- 12) ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客名の入ったワークシートを印刷するサブプロシージャを入力し、ワークシート「注文一覧」の「請求書印刷」ボタンに登録してください。変数の指定はありませんが、テキストの解答では「Kokyaku」としています。(参照 P103～P104)
- 13) ワークシート「注文一覧」のセル H3 に入力されている顧客名の入ったワークシートを削除するサブプロシージャを入力し、ワークシート「注文一覧」の「請求書削除」ボタンに登録してください。変数の指定はありませんが、テキストの解答では「STName(SheetName の StN をつなげ、すべて大文字の文字列)」しています。(参照 P105～P107)